

### 【ヒットルアー】

- ・モカDR(SS) 桃 9尾
- ・モカDR(SS) ミドピーノ 2尾
- ・モカSR(SS) ミドピーノ 2尾
- ・モカSR(SS) 黄・オレンジ 1尾
- ・モカSR(SS) 桃 1尾
- ・ファットモカjr.DR(SS) 蛍光ピンク 1尾
- ・ファットモカJr.SR(SS) 黒ザリガニ 1尾

- ・プチモカSR(SS) イルージョンペレット 2尾
- ・スティル イルペレジャーク 1尾
- ・ココニヨロ F 黄・オレンジ 1尾
- ・ちびパニクラDR-SSショボクレおこし(グロー) 1尾
- ・マメしずくBB 薄茶 1尾

モカDR(SS)  
桃



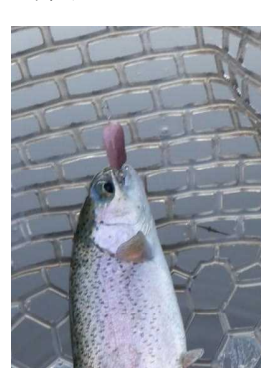
モカDR(SS)  
ミドピーノ



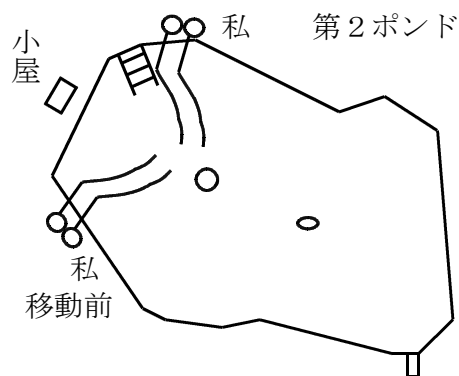
プチモカSR(SS)  
イルージョンペレット



マメしずくBB  
薄茶



<移動前>



### 【様子】

- 料金 半日午後 男性 ¥4,000 女性 ¥3,500
- 今日は正月バージョンだろうか。放流あり。餌撒きはファミリーエリアであり。午後4時終了
- 晴れ、風はほとんどなし。水は濁っている。客は多い。

### 12時10分～午後2時20分 16尾

- お客さんが多い。二人並んで入れるところを探した。日陰のところがちょうど空いた。そこに入った。
- 2023年10月に来たときは、3回とも一桁だった。約2ヶ月ぶりである。今回も一桁なら今までの釣り方は通用しないということだろう。

- いつものようにモカSR(SS)ミドピーノからスタートした。2尾取った。10月より反応がある。ほっとした。
- しかし、続かない。モカSR(SS)黄・オレンジで1尾取ったがぱっとしない。
- 表層にマスの姿が見られないので、モカDR(SS)ミドピーノを試すことにした。
- 「5回巻いて止める、止める長さはカウント5」を繰り返した。1尾取った。
- 日の当たる場所が空いたので、そこへ行くことにした。
- モカDR(SS)ミドピーノで更に1尾取ったがぱっとしない。自塗りの桃色を試してみた。これが良かった。連続ヒットとなった。9尾取ったところで当たりが止まった。
- リップの長いものを試した。2尾取った。
- 放流のアナウンスが流れた。

#### 午後2時20分 放流 0尾

- しばらく粘ったが、こちらには放流魚が回ってこなかった。

#### 午後2時30分～午後4時00分 7尾

- ここからは拾い釣りとなった。

#### <ツレ>

- モカSR(SS)黄・オレンジが一番よく釣れた。
- いつもの釣り方で釣った。



#### 【振り返り】

- モカDR(SS)桃で連続ヒットとなった。
- 「ゆっくりゆっくりと5回巻き、止める。‘ゆっくり’でリール半周。‘ゆっくりゆっくり’でリール1周。止める長さはカウント5」これを繰り返した。
- マスの姿が表層になかったため、これを試した。

#### <モカ・プチモカから始める>

- ①モカ・プチモカSR(SS) よく釣れるカラーから始める。他の色も試す。
  - モカSR(SS)ミドピーノから始めた。
  - マスの姿が表層に見られなかったことから、沈めてから巻き始めた。
  - 水の濁りによりカウント8で姿が見えなくなった。ここから巻き始めた。
  - 3尾取ったが、釣れ続かなかったので、モカDR(SS)ミドピーノを試した。
  - 2尾取ったが、ぱっとしないので、桃色に変えた。これが良かった。連続9尾取った。
  - モカDR(SS)桃で当たりが止まったので、釣り方は同じにしてリップの長いルアーでいろいろ試した。
- モカSR(SS)とモカDR(SS)では泳ぎが違うので、SRで釣れなくなったとき、DRを試す。
- ルアーチェンジするときに、最後の一投でロッドポジションを変えると釣れるときがある。
- ②マジックジャーク
  - 試したが1尾取ったのみ。
- ③ボトムを試す。
  - 試したが反応がなかった。
  - ツレはしづくBB(桃・薄茶)で3尾取った。
  - 底でルアーを跳ね上げた後、長く待った。触りに来ることが分かった。
- ④モカ・プチモカSR(SS) 釣れたカラーをもう一度試す。

### ⑤次の一手

これまで釣れていたルアーや釣り方を初めから繰り返す。

ボトムとかトップとか釣っていない層を釣る。

まだ使っていないルアーを試す。

○反応の良かったものから傾向をさぐり、ルアーをチョイスする。

○反応の良かった層をリトリートする。

上手な人の釣り方を探る。

### ⑥拾い釣りの状況の場合。

○すべてのルアーを試すつもりで投げる。スプーンも使う。

○一投目で釣れることがよくあることを認識する。

○一投目で反応がなければすぐに変える。

○一投目で釣れても、二投目で反応がなければすぐに変える。

### 【スプーンで釣る】

ロッドポジションはラインと一直線になるようにして、やや左(または右)に振ることを基本にする。

リトリートスピードはスプーンが泳ぐ一番遅いスピードで巻く。

泳層は概ねスプーンの重さによると考える。

泳層を探るときは、軽いもの(0.9g)から重いものへとする。上の層から下の層を探っていく。

これでカラーを探る。

表層を探るときは、0.9gから更に軽いものへと変えていく。

遠くの表層は、0.9gのスプーンを使い、ロッドティップを上げて釣る。

→ 少し試したが、ダメだった。